

産業実務演習Ⅱ

科目ナンバリング MAN-202
選択 2単位

山本 博幸

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、社会人、特にビジネスパーソンとして必要なスキルのうち、情報収集、情報分析、金融リテラシービジネス上の常識について学び、産業界に通用する人材の骨格を形成する。

具体的には、より実生活に近い対象をつぶさに検証し企業経営のみならず、あらゆる組織運営に有効なツールを学ぶことになる。日常生活における暗黙知を学びなおすことも言え、とても楽しい時間としたい。具体的には成功企業を分析や歴史を探ることを加えながら授業を進めてゆく。

楽しく、分かり易く、役に立つをモットーに！

生涯使える知識を授けましょう。

2. 授業の到達目標

(1) 社会に対する関心の向上

(2) 基礎学力の向上(経済・社会・企業の動向をみる力を養う)

(3) 明日から企業人として、社会に出て直ちに同化出来る知恵と教養を磨く

(4) 具体的には、経済紙が報道する事象に対してつぶさに理解が出来、場合によって自らの意見を述べることも出来る人材をつくる。

(5) 大学や企業や社会に対して望郷心を持つ人材をつくる。

(6) 家族や、クラブの仲間に語れるようになることを一つの目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

中間試験および期末試験の結果70%

講義に対する参加態度15%

課題の提出状況15%

4. 教科書・参考文献

教科書

山本博幸著 『日経新聞が読む技術・活用する技術』ISBN978-4-7993-2547-6

デイスカヴァー・トゥエンティワン社版

参考文献

月刊文藝春秋、日本経済新聞など。その他、期中に紹介する。

5. 準備学修の内容

日刊紙を熟読すること

6. その他履修上の注意事項

適宜伝達する

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス
【第2回】	情報収集③
【第3回】	情報収集④
【第4回】	金融リテラシー③
【第5回】	金融リテラシー④
【第6回】	ケーススタディー③
【第7回】	ケーススタディー④
【第8回】	中締め
【第9回】	企業史③
【第10回】	企業史④
【第11回】	企業比較調査③
【第12回】	企業比較調査④
【第13回】	社会人への準備
【第14回】	総括
【第15回】	今後のビジネス社会の展望